



## 第36回マイクロマウス中部地区大会 結果

～ 情報技術部ロボット班 ロボスプリント競技 優勝、準優勝、第3位～ **上位独占!**

実施日 平成29年10月29日(日)  
 場所 名古屋工学院専門学校(名古屋市熱田区)  
 参加台数 マイクロマウス競技63台 ロボトレース競技21台 ロボスプリント競技18台 合計102台  
 大会結果  
 ロボスプリント競技(一般の部) **優勝** 伊藤凌那(2年化学技術科)  
 ロボスプリント競技(一般の部) **準優勝** 古澤一晃(2年情報技術科)  
 ロボスプリント競技(ワンメイクの部) **優勝** 岩田優希(1年電子科)  
 ロボスプリント競技(ワンメイクの部) **準優勝** 山岸蓮弥(1年情報技術科)  
 ロボスプリント競技(ワンメイクの部) **第3位** 青木健実(3年情報技術科)

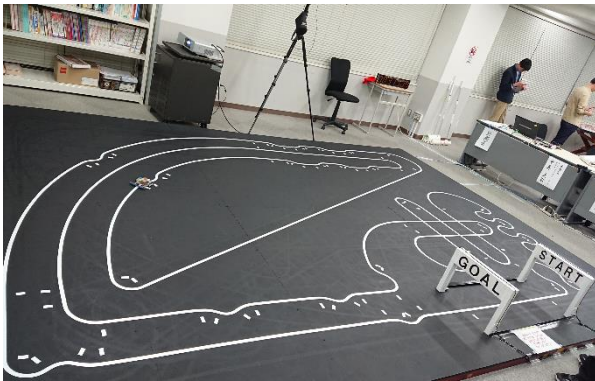
### 記事

本校からロボトレース競技4台、ロボスプリント競技12台の合計16台が大会にエントリーした。

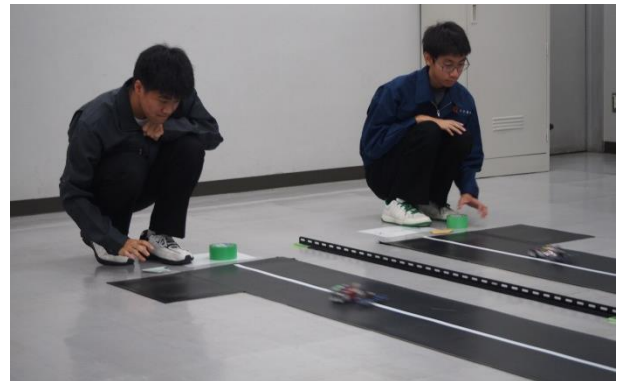
ロボトレース競技は、3.6m×5.4mの黒ベニヤ板に設けられた白線上をスタートからゴールまで自律走行し、その走行時間を競う競技である。競技では、コースの難易度が高く全体の完走率が低かったため、本校のロボットは1台のみの完走となった。前日の試走会でもスピードやカーブなどの調整を行ってきたが、本番でうまく走ることができなかつたため、原因を考え、今後につなげていきたい。

ロボスプリント競技は、長さ8m、幅45cmの直線コースをいかに早く走行するかを競う競技で、2台のロボットが対戦するトーナメント形式であり、安定した走行性能が求められる競技である。一般の部とワンメイクの部があり、ワンメイクの部は、車体や電子回路等をキット純正のままで行うものになっている。ラインのないところから進入する部分に重点を置き、安定した進入ができるように工夫した結果、自作ロボットを使用したときに、8mのコースを2秒前半でゴールするロボットに仕上がった。一般の部では、伊藤凌那君(2年化学技術科)のロボットが**優勝**、古澤一晃君(2年情報技術科)のロボットが**準優勝**、ワンメイクの部では、岩田優希さん(1年電子科)のロボットが**優勝**、山岸蓮弥君(1年情報技術科)のロボットが**準優勝**、青木健実君(3年情報技術科)のロボットが**第3位**を獲得した。

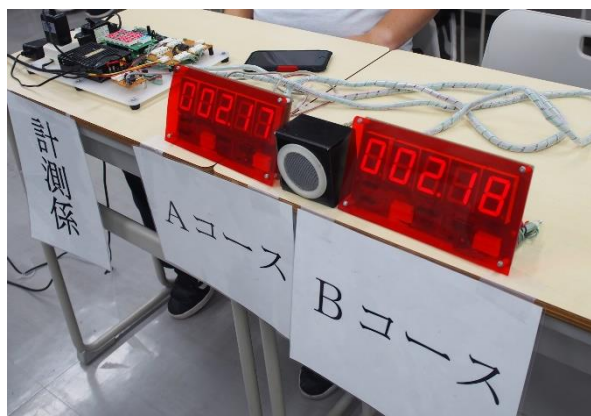
当日の調整時間が短く、練習の成果を十分に発揮することができなかった生徒もいたが、普段の活動で努力をしている生徒が大会で良い結果を残すことができ、今後の活動への課題やヒントを得ることができた。さらに技術向上に励んでいきたい。



ロボトレース競技コース



ロボスプリント競技(一般の部)決勝戦



大学生を相手に0.01秒差で勝利!



表彰式後 記念写真